

# 気仙沼観光マーケティングレポート(平成 30 年 7 月版)

## ◆今月のピックアップ

- ・7月の入込み数は物販施設、観光施設とも同月前年を大きく上回った。特に物販施設は2年前の平成28年と比べ約1万人強の増となっている。
- ・宿泊者数は「その他」が同月前年の約6割に止まり、1月から続く減少に歯止めがかからない。一方で「復興関連」の宿泊者数は昨年の2倍強と大きく伸びている。
- ・今月は特集として復興関連宿泊者数の推移をまとめた。2011年から2017年までの年別、2015年1月から2018年6月までの月別、2015年12月からの移動年計を記載している。 ※末尾に掲載

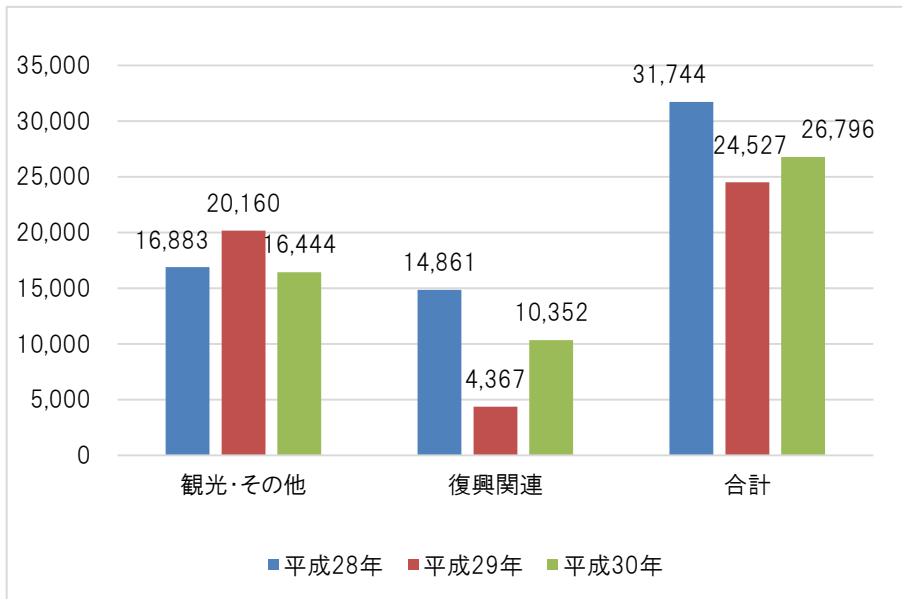
## 1. 宿泊

### (1) 宿泊者数

#### ① 同月前年比

(単位:人)

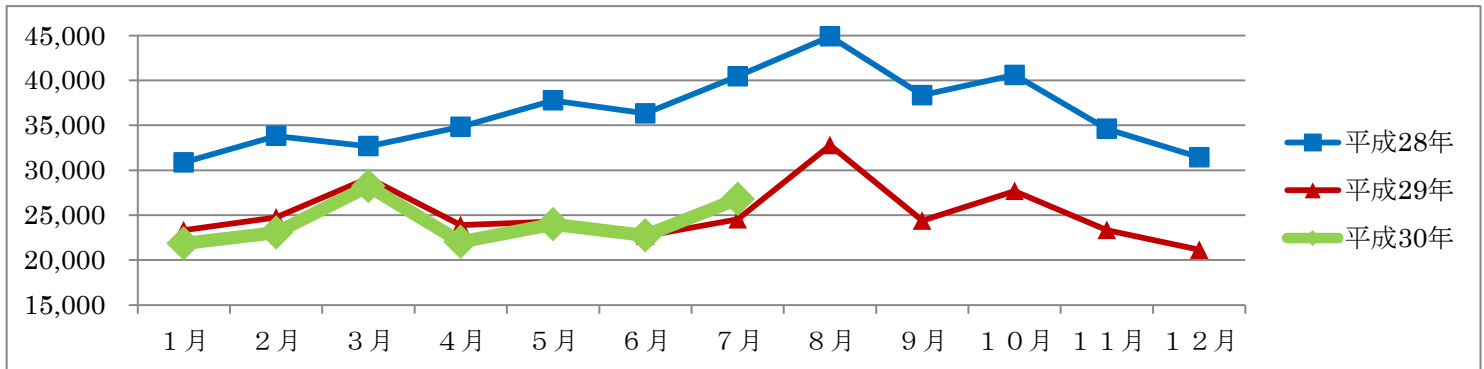
(単位:人)



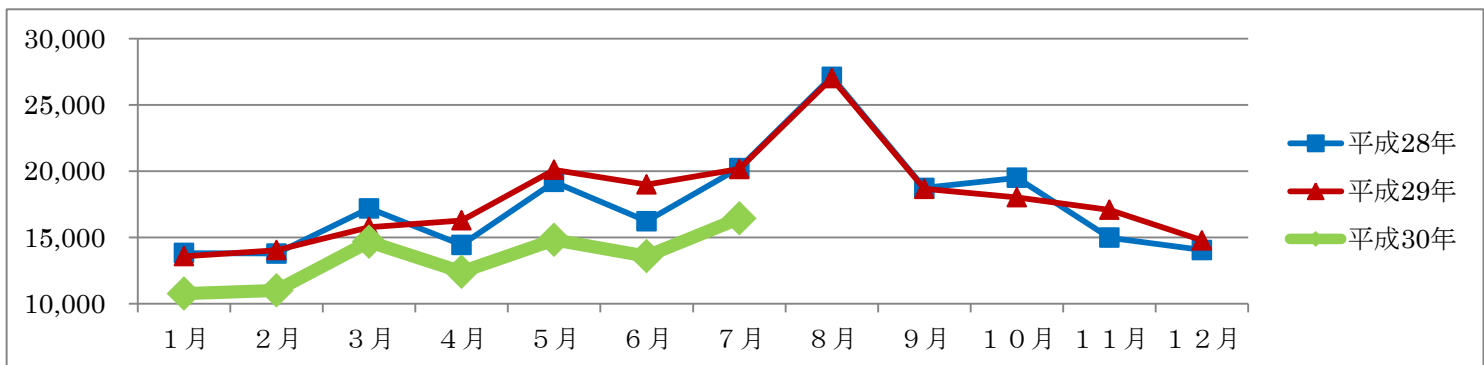
宿泊者数	平成28年 (7月)	平成29年 (7月)	平成30年 (7月)
観光・その他	16,883	20,160	16,444
(観光)	14,001	9,736	10,462
(その他)	2,882	10,424	5,982
復興関連	14,861	4,367	10,352
合計	31,744	24,527	26,796

※平成29年より「その他(主に復興事業以外のビジネス客)」の項目を増やし調査しています。

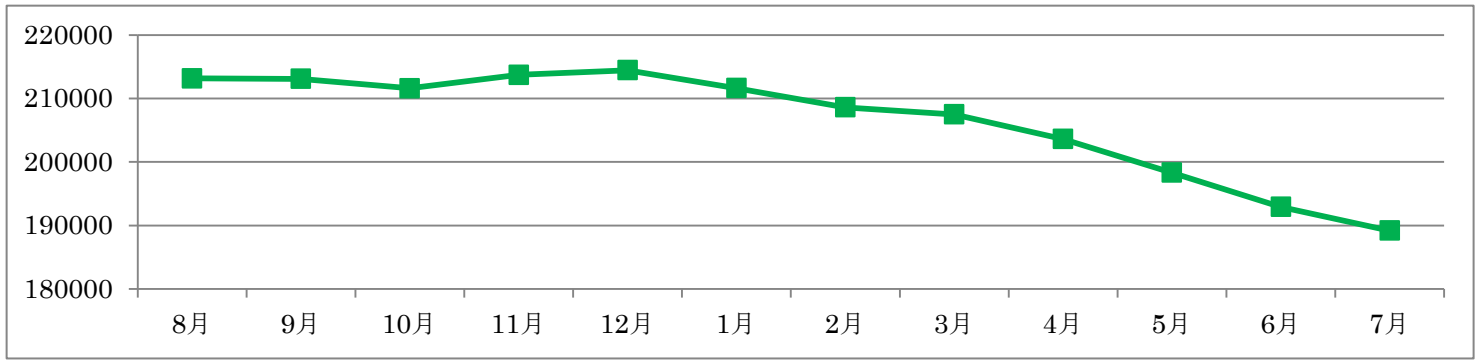
#### ② 年間推移(合計)



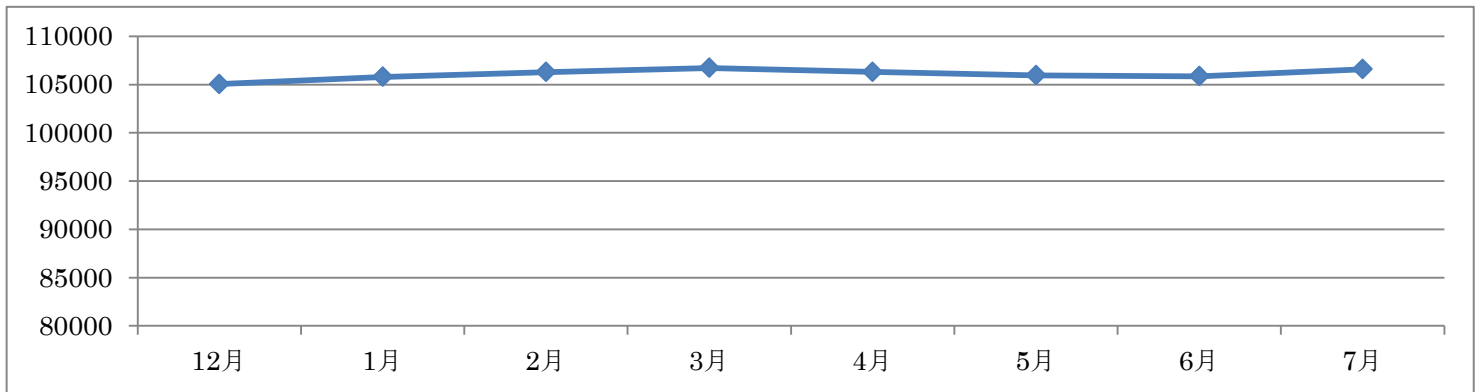
#### ③ 年間推移(観光+その他)



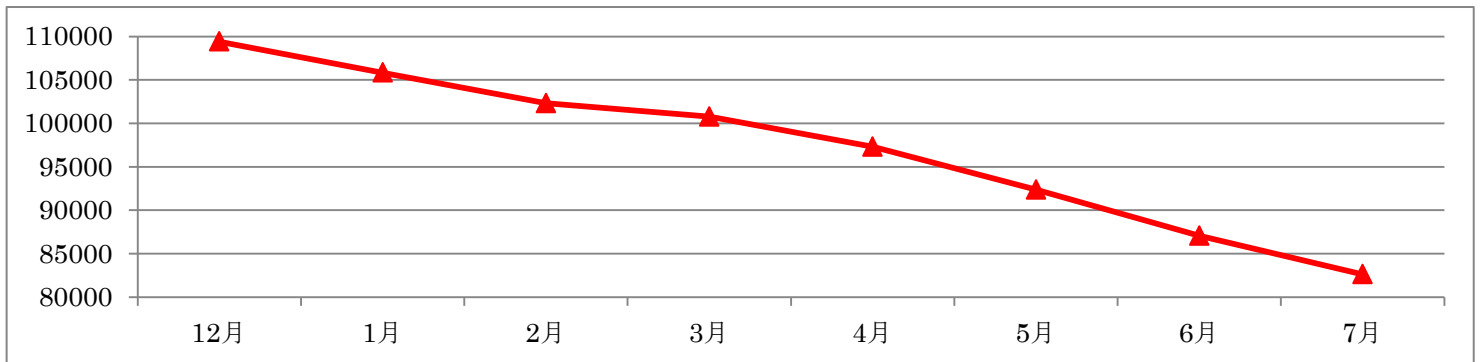
④移動年計(観光+その他)



⑤移動年計(観光)



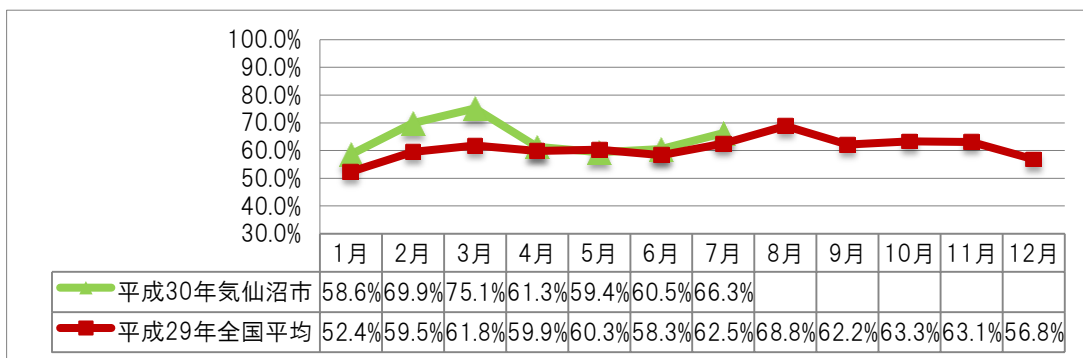
⑥移動年計(その他)



※「観光」「その他」の数値は平成 29 年より分けて調査をしたため、移動年計は年間累計が可能となる同年 12 月のスタート。

(2)客室稼働率

《参考データ》



宿泊施設タイプ別 (全国平均)	平成 29 年 (7 月)
旅館	38.7%
リゾートホテル	60.4%
ビジネスホテル	76.4%
シティホテル	81.0%
簡易宿所	33.0%

※平成 29 年全国平均は、観光庁宿泊旅行統計調査(平成 29 年・年間値(速報版))より

＜宿泊施設トピックス＞

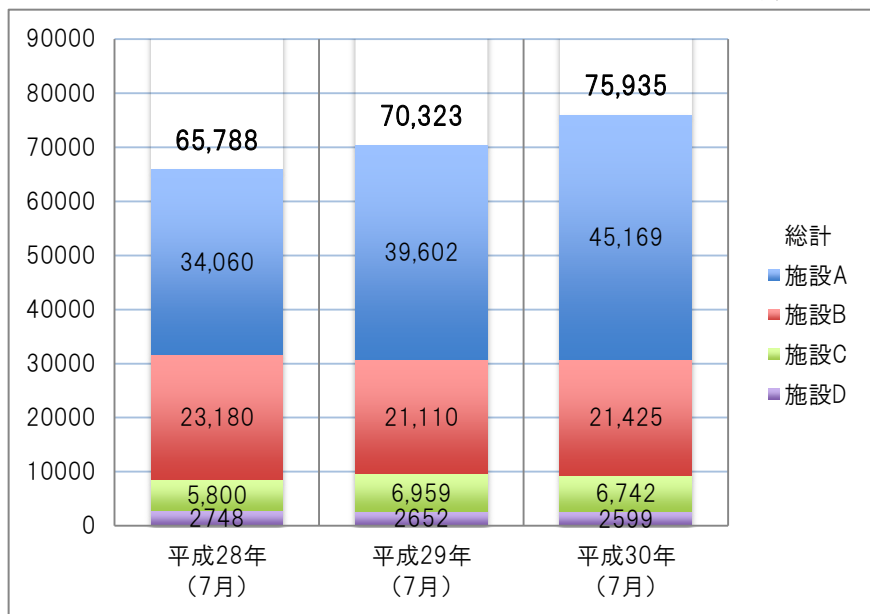
・宿泊者数の合計は同月前年比 109.3%と増加した。「復興関連」が同 237.1%と倍増した一方で「観光+その他」は同 81.6%と減少している。これも 1 月から続く「その他」の減少(同 57.2%)が大きく影響している。「観光」は同 107.5%と伸びている。  
 ・宿泊施設からは「今年は梅雨明けも早く、宿泊人数が昨年より伸びた」「7 月は観光よりビジネスの利用が多い」「関東方面からの団体ツアーの取り込みが出来たため観光需要が多い月だった」などの声が寄せられた。

## 2. 物販施設(レジ通過人数)

### (1) 同月前年比

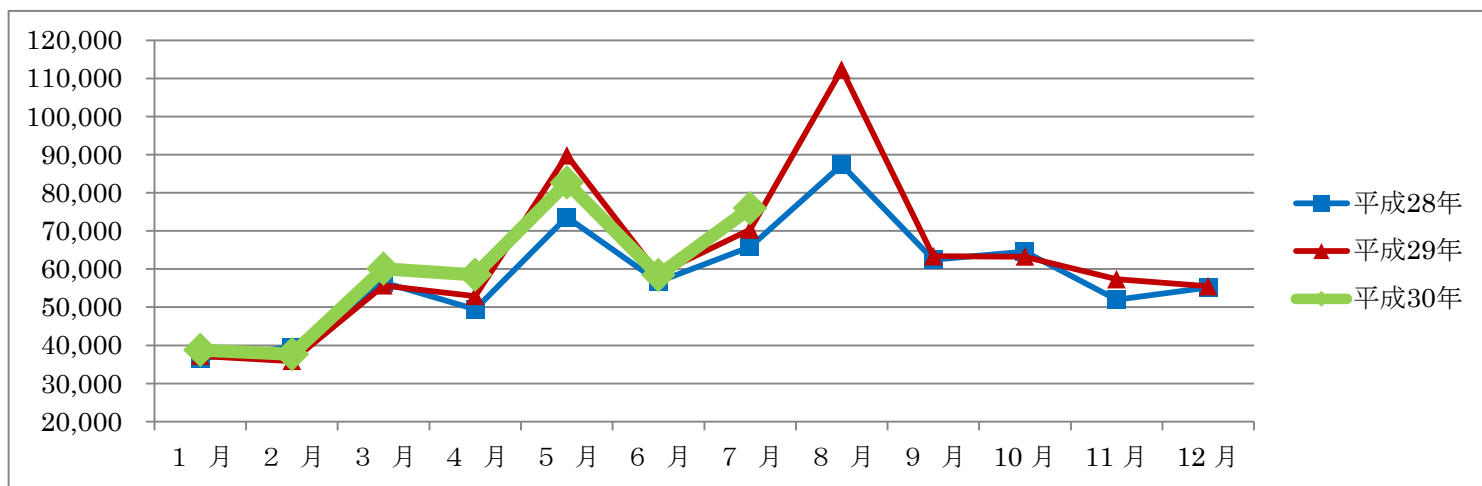
(単位:人)

(単位:人)

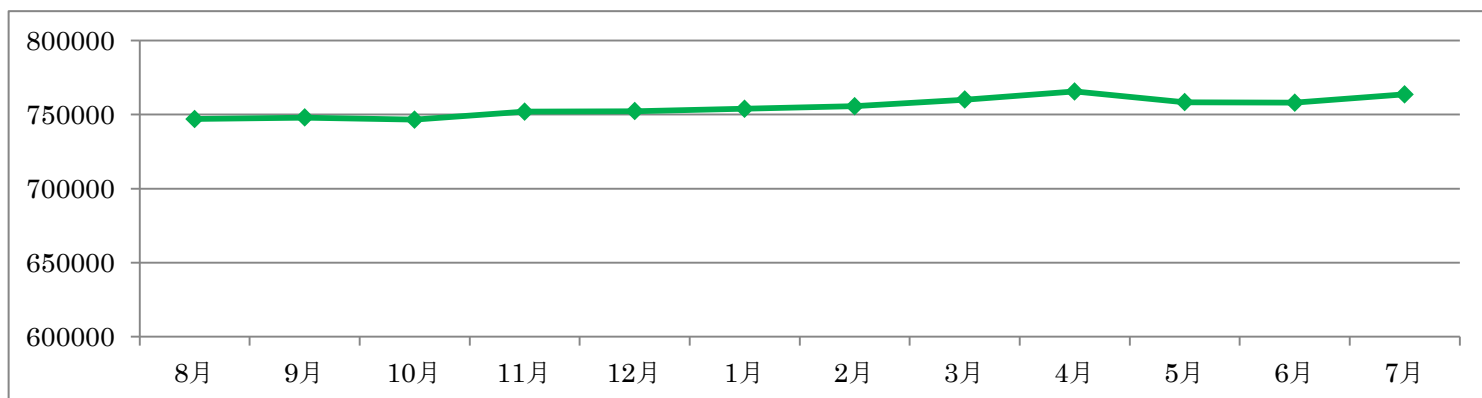


物販施設	平成28年 (7月)	平成29年 (7月)	平成30年 (7月)
施設A	34,060	39,602	45,169
施設B	23,180	21,110	21,425
施設C	5,800	6,959	6,742
施設D	2,748	2,652	2,599
総計	65,788	70,323	75,935

### (2) 年間推移



### (3) 移動年計



#### <物販施設トピックス>

・総計は同月前年比 108.0%と増加した。特に施設Aは同 114.1%となり、平成 28 年の同月と比べ 132.6%、1 万人以上の増加となっている。

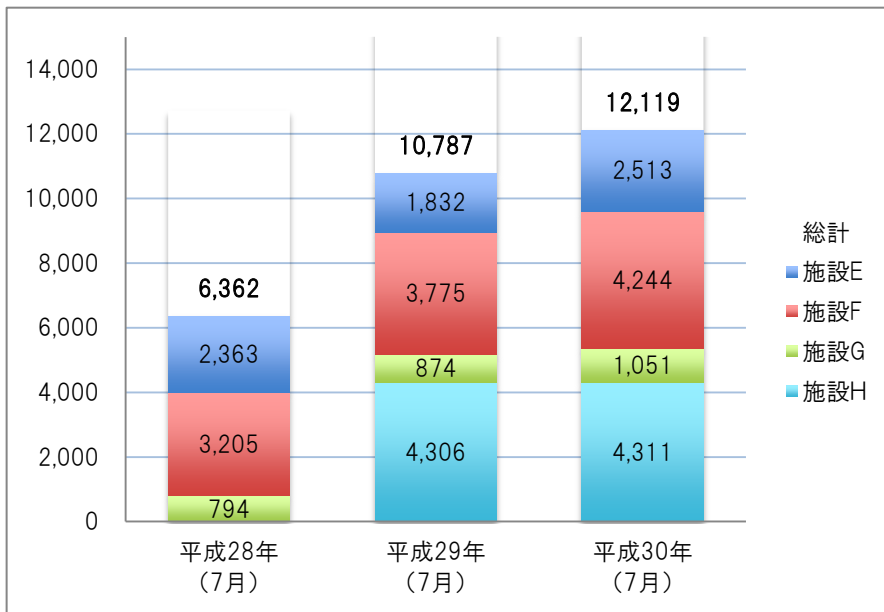
・各施設からは「7/14~16 開催のかつおまつりの効果があり、誘客数が伸びた」との声があった一方で「暑すぎて(レジ通過人数が)減少したのか?」などの声もあった。

### 3. 観光施設(利用人数)

(1) 同月前年比

(単位:人)

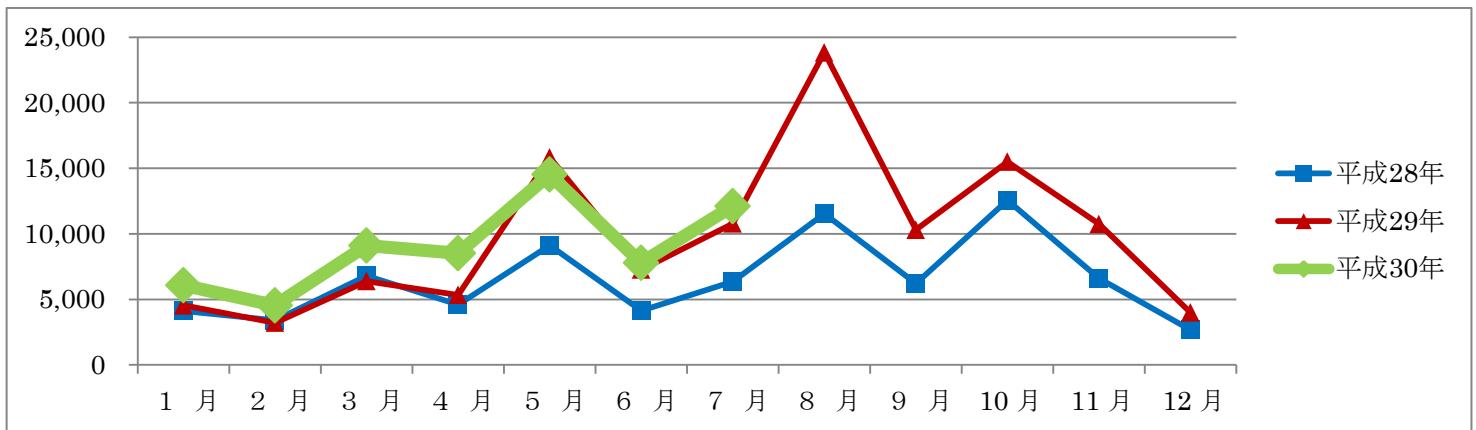
(単位:人)



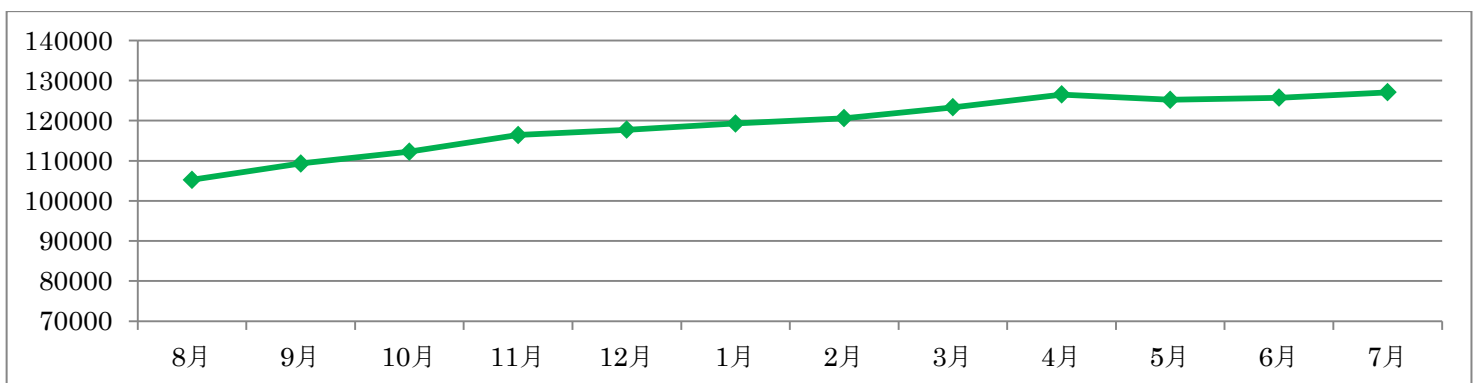
観光施設	平成28年(7月)	平成29年(7月)	平成30年(7月)
施設E	2,363	1,832	2,513
施設F	3,205	3,775	4,244
施設G	794	874	1,051
施設H		4,306	4,311
総計	6,362	10,787	12,119

(2) 年間推移

(単位:人)



(3) 移動年計



#### <観光施設トピックス>

・総計の同月前年比は 112.3%。施設E~Hの全てで前年を上回った。移動年計も上昇を続けている。

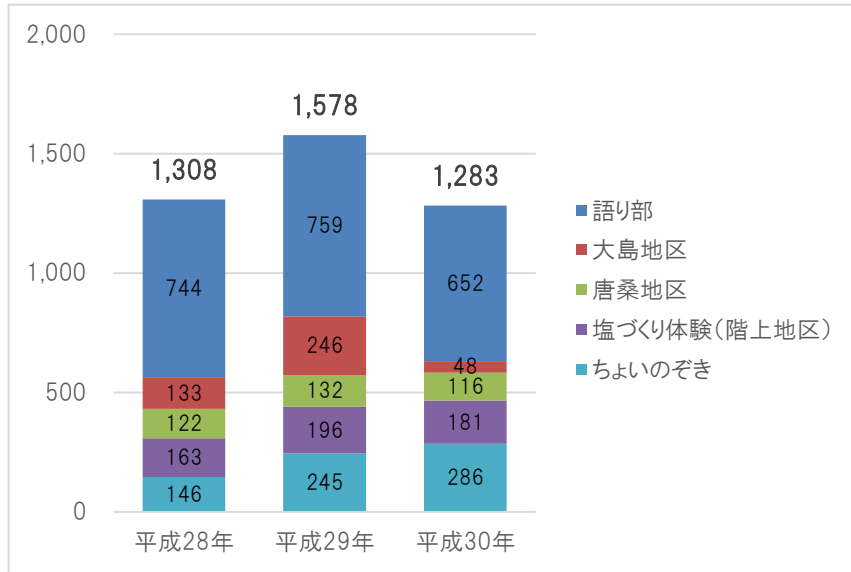
#### 4. アクティビティ体験

##### (1) 体験人数

###### ① 同月前年比

(単位:人)

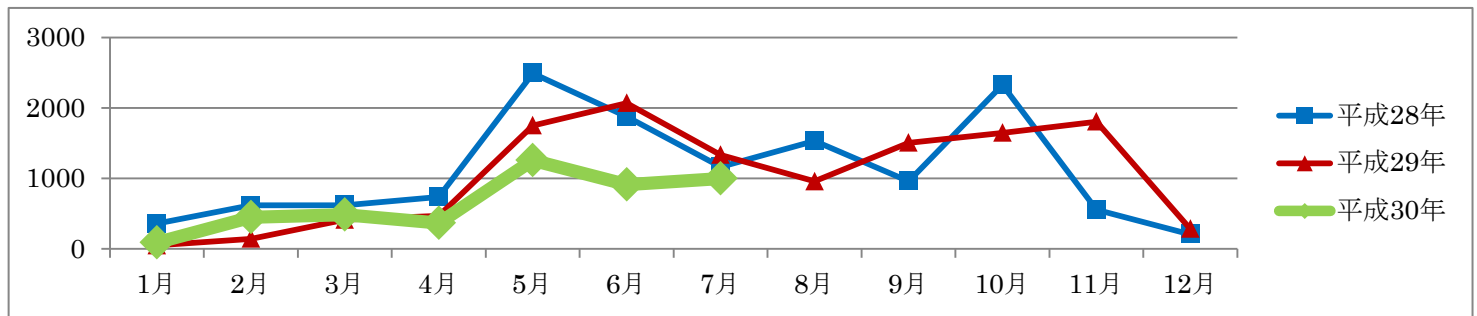
(単位:人)



アクティビティ	平成 28 年 (7 月)	平成 29 年 (7 月)	平成 30 年 (7 月)
語り部	744	759	652
大島地区	133	246	48
唐桑地区	122	132	116
塩づくり体験 (階上地区)	163	196	181
ちよいのぞき	146	245	286
総計	1,308	1,578	1,283

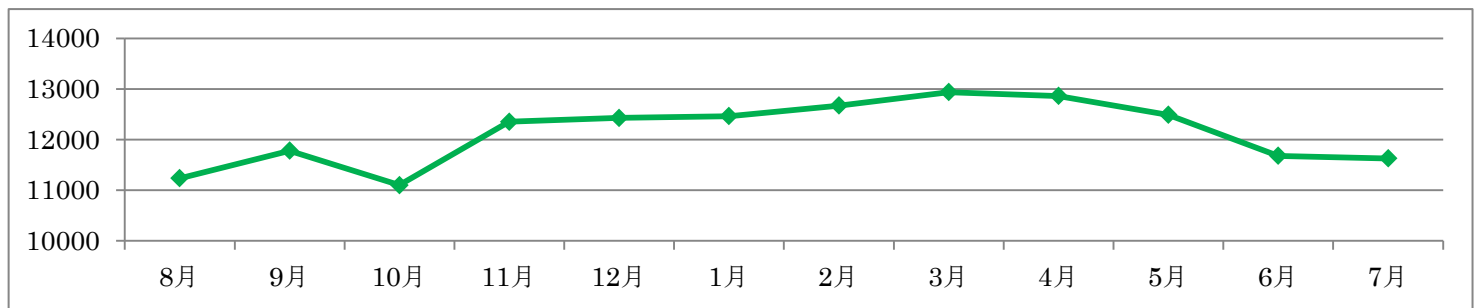
###### ② 年間推移

(単位:人)



###### ③ 移動年計

(単位:人)

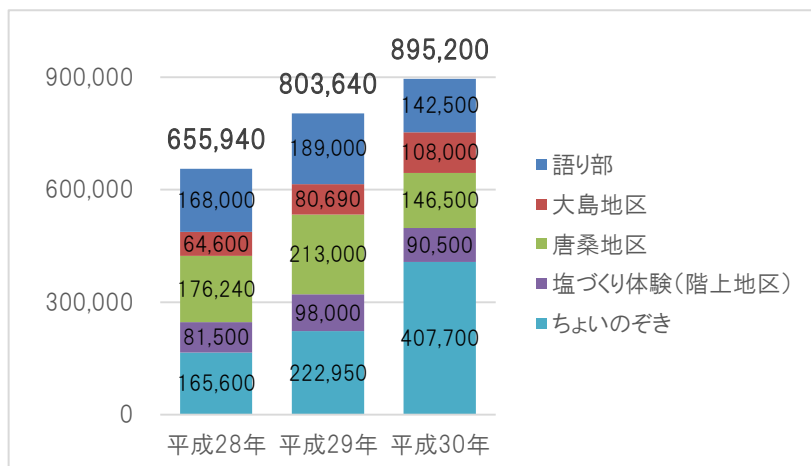


##### (2) 体験金額

###### ① 同月前年比

(単位:円)

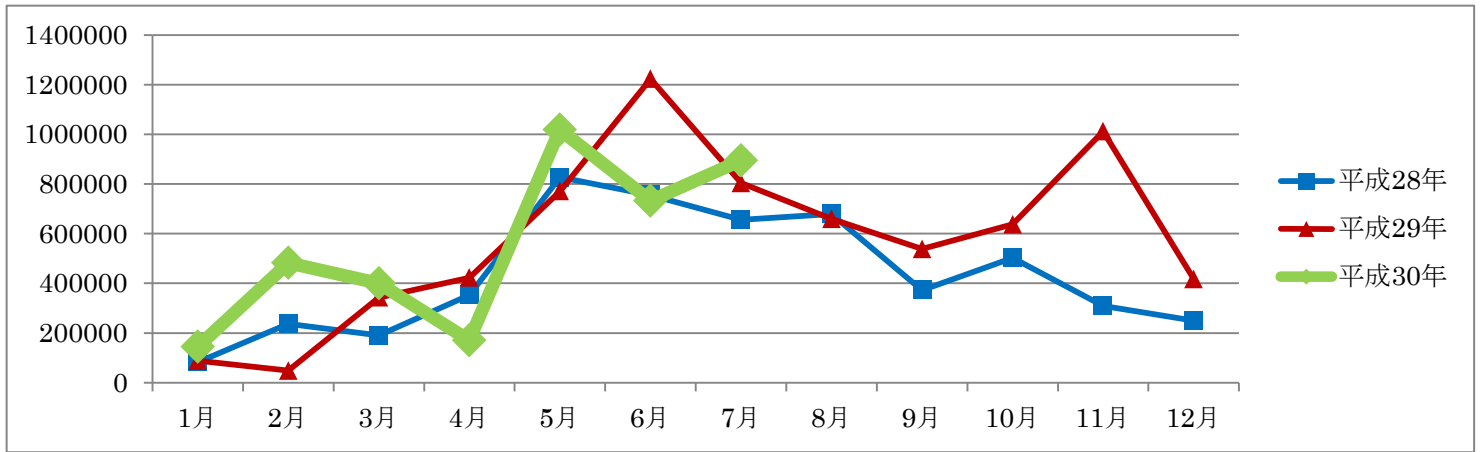
(単位:円)



アクティビティ	平成 28 年 (7 月)	平成 29 年 (7 月)	平成 30 年 (7 月)
語り部	168,000	189,000	142,500
大島地区	64,600	80,690	108,000
唐桑地区	176,240	213,000	146,500
塩づくり体験 (階上地区)	81,500	98,000	90,500
ちよいのぞき	165,600	222,950	407,700
総計	655,940	803,640	895,200

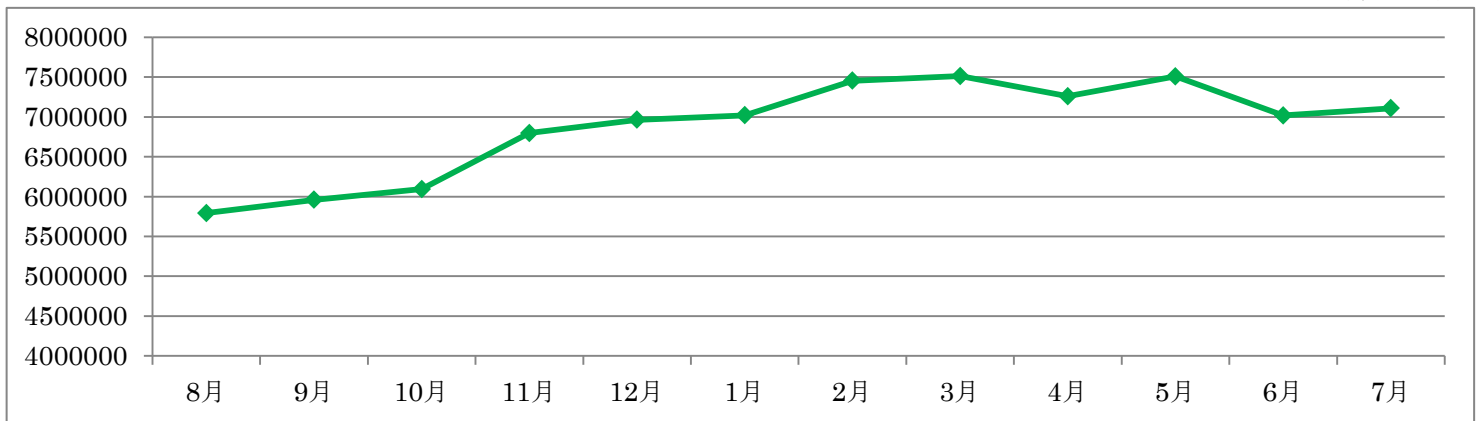
## ②年間推移

(単位:円)



## ③移動年計

(単位:円)



### <アクティビティ体験トピックス>

・同月前年比は体験人数で 81.3%，体験金額では 111.4%となった。語り部，唐桑地区，階上地区の体験が人数，金額ともに減少した。ちよいのぞきは人数で 116.7%，金額は 182.9%と 2 倍近い数字となった。

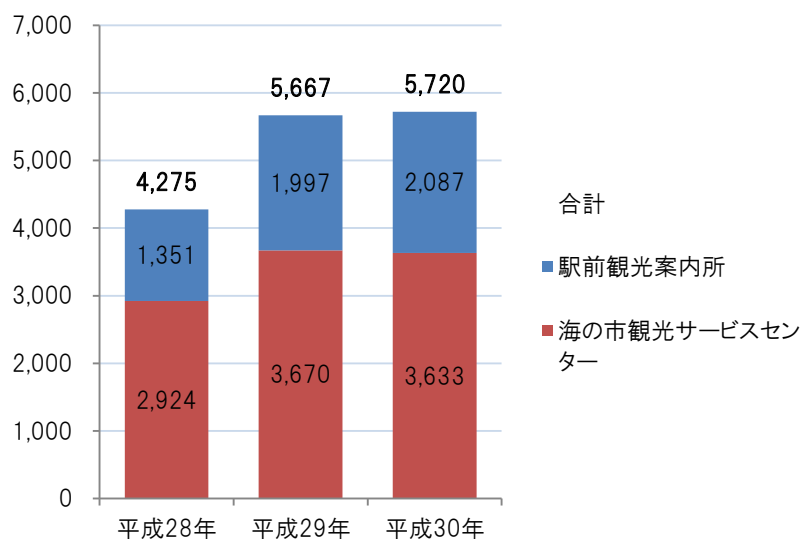
・大島地区の同月前年比は，体験人数が 19.5%と激減したが，これは今年教育旅行の受入れがなかったためである。一方，金額が 133.8%となったのは，磯釣り，シーカヤック等の個人客の受入れが増加したためである。

## 5. 観光案内所

### (1) 利用人数(同月前年比)

(単位:人)

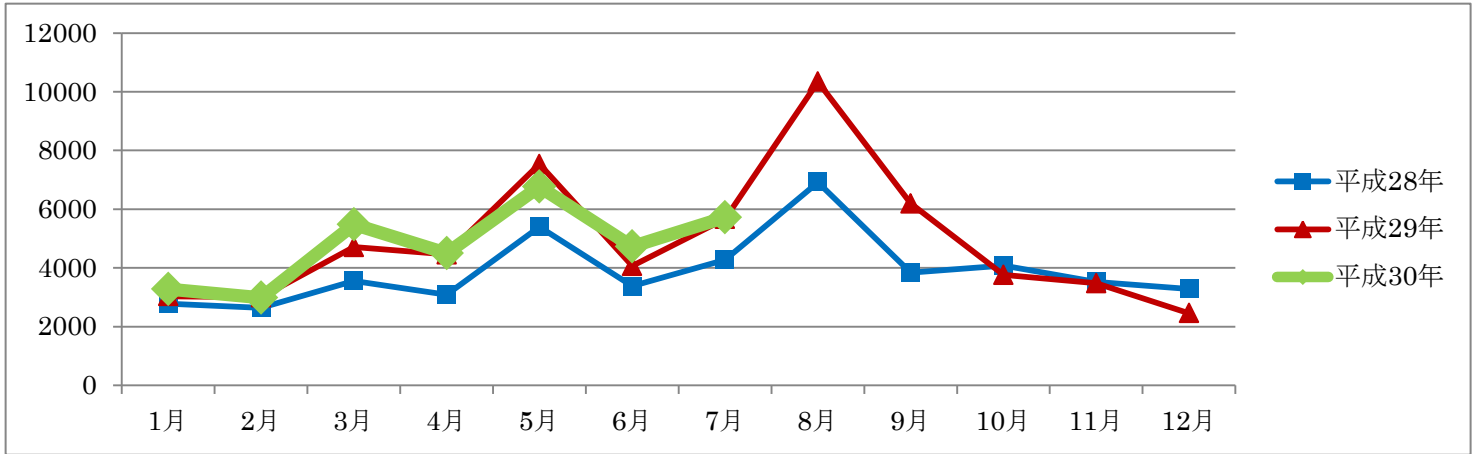
(単位:人)



観光案内所	平成 28 年 (7 月)	平成 29 年 (7 月)	平成 30 年 (7 月)
駅前観光案内所	1,351	1,997	2,087
海の市観光サービスセンター	2,924	3,670	3,633
総計	4,275	5,667	5,720

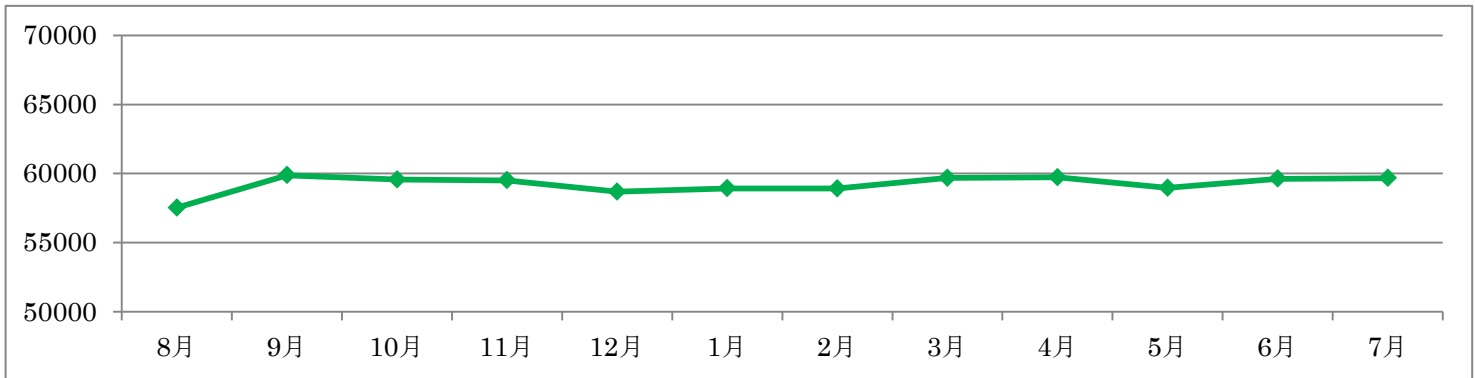
(2) 同年間推移

(単位:人)



(3) 移動年計

(単位:人)



<観光案内所トピックス>

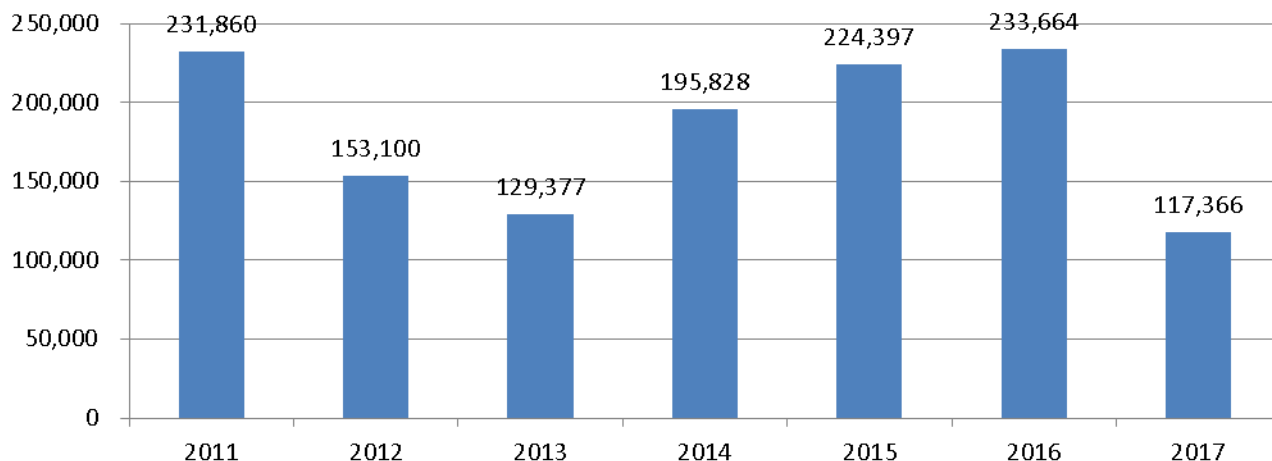
・合計の同月前年比は 100.9% ほぼ横ばいの数値となった。内訳は駅前観光案内所が同 104.5%、海の市観光サービスセンターが 99.0% である。

・海の市は 15 日、16 日の来客者数が多かったが、これは当日開催の海の市 4 周年感謝祭、かつお祭りの影響と思われる。

# <特集> 復興関連宿泊者数の推移

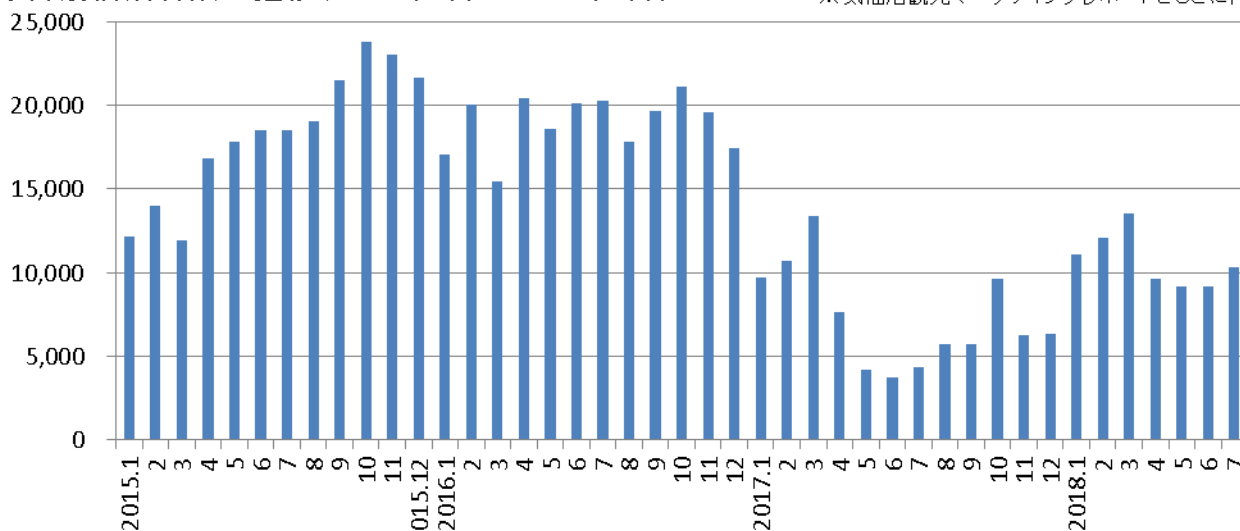
◎年間宿泊者数の推移(2011年～2017年)

※観光統計をもとに作成



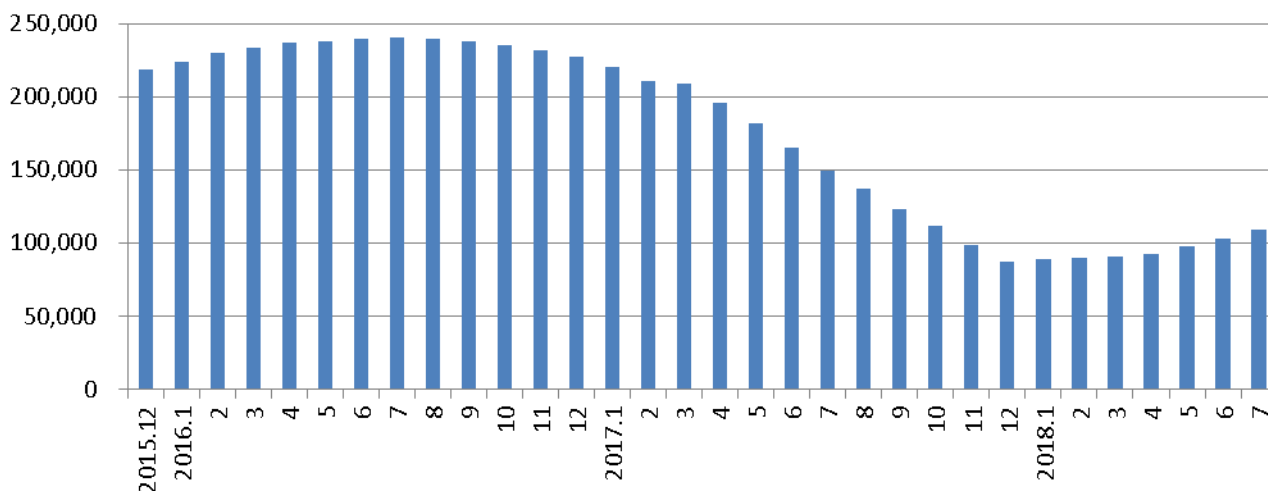
◎月別宿泊者数の推移(2015年1月～2018年7月)

※気仙沼観光マーケティングレポートをもとに作成



◎移動年計の月別推移(2015年12月～2018年7月)

※気仙沼観光マーケティングレポートをもとに作成



移動年計=その月の数字に過去11か月の数字を足した合計額。2018年6月の数字は、17年7月から18年6月までの数字の合計額となる。過去1年間の数字を合計し比較することで、季節や月ごとの変動に影響されず純粹に数字の推移がわかる。